

令和元年度

事業報告書

平成31年4月1日から

令和2年3月31日まで

公益財団法人宮城県水産振興協会

I 組織の状況

1 主な活動事項

年 月 日	事 項	場 所 等
平成31年 4月 1日 ～ 令和 元年 5月 17日	アワビ採卵・採苗	協会内
平成31年 4月 15日 ～4月 19日	平成31年度みやぎ漁師カレッジ 研修候補生面談	協会内
令和 元年 5月 9日 5月 10日	ホシガレイ稚魚搬出	水産技術総合センター
令和 元年 5月 13日	漁業経営安定対策宮城県本部役員 会・通常総会	宮城県水産会館
令和 元年 5月 20日 ～7月 5日	アワビ種苗剥離（選別・出荷）	協会内
令和 元年 5月 20日	平成30年度決算監事監査	協会内
令和 元年 5月 23日	ホシガレイ種苗搬入(宮古)	東北区水産研究所沿岸 漁業資源研究センター
令和 元年 5月 25日 5月 26日	藻場調査等実習会	東京海洋大館山ST
令和 元年 5月 28日	第22回定時理事会	パレス松洲
令和 元年 6月 3日	みやぎ漁師カレッジ長期研修開講 式	女川町まちなか交流館
令和 元年 6月 12日	第8回定時評議員会 第23回理事会	不成立 決議の省略の方法による
令和 元年 6月 17日 6月 18日	評議員会決議省略の件で各理事・ 各監事への説明	県内各地
令和 元年 6月 17日	第24回理事会	決議の省略の方法による
令和 元年 6月 20日	第9回評議員会 第25回理事会	決議の省略の方法による
令和 元年 6月 24日	宮城県内水面漁連総会	宮城県水産会館
令和 元年 6月 27日	ヒラメ種苗搬入	岩手県栽培漁業協会
令和 元年 6月 27日 6月 28日	役員変更登記申請	仙台北務局
令和 元年 6月 28日	就業規則変更届提出	仙台労働基準監督署
令和 元年 6月 28日	宮城県漁業協同組合総代会	石巻市ビッグバン

令和 元年 7月 4日	ヒラメ種苗搬入	岩手県栽培漁業協会
令和 元年 7月 4日 ～7月12日	資源管理型漁業推進支援事業 補助金審査委員会（書面審査）	協会内
令和 元年 7月 9日	豊かな海づくり大会リレー放流ス タートイベント	花刈浜漁港
令和 元年 7月 9日	松島湾浅海漁業振興協議会役員会	J F 塩釜総合支所
令和 元年 7月18日	第1回放流体制検討広域協議会	エッサム神田ホール
令和 元年 7月19日	宮城県産地魚市場協会総会 水産物流通対策協議会通常総会	ホテル白萩
令和 元年 7月22日	宮城県漁業士会通常総会	ハーネル仙台
令和 元年 7月22日 ～7月25日	ホシガレイ稚魚放流	県内9ヶ所に放流
令和 元年 7月23日	宮城県漁協青年部通常総会	大観荘（松島町）
令和 元年 7月23日	太平洋北栽培協総会・検討会	岩手県水産会館
令和 元年 7月24日	密漁防止対策協議会通常総会	宮城県漁協・本所
令和 元年 7月26日	令和元年度宮城県さけます増殖協 会理事会・通常総会・設立40周 年記念式典	パレス松洲
令和 元年 7月26日	松島湾浅海漁業振興協議会総会	グランドパレス塩釜
令和 元年 7月29日 ～8月 6日	ヒラメ稚魚放流	県内12ヶ所に放流
令和 元年 7月31日	栽培漁業若手研修会	佐賀県唐津市
令和 元年 8月 5日 ～8月 9日	みやぎ漁師カレッジ第1回短期研 修	水産技術総合センター 他
令和 元年 8月 8日	青年女性漁業者交流大会	石巻ビッグバン
令和 元年 8月16日	漁業就業相談	協会内
令和 元年 8月22日	水産業経営支援協議会	漁信基ビル2階会議室
令和 元年 8月27日	臼井賢志氏叙勲受章祝賀会	気仙沼プラザホテル
令和 元年 8月31日	漁業就業支援フェア（仙台）	イベントホール松栄
令和 元年 9月 6日	全漁連女性部視察	協会内

令和 元年 9月 6日	浜と水試の情報交換会	気仙沼水産試験場
令和 元年 9月 7日 9月 8日	全国豊かな海づくり大会（秋田）	秋田市内
令和 元年 9月 11日	豊漁祈願祭	塩竈神社
令和 元年 9月 11日	水技センター成果発表会	水産技術総合センター
令和 元年 9月 12日	豊かな海づくり大会リレー放流用 ヒラメ稚魚出荷	協会内
令和 元年 9月 13日	中部地区栽培漁業推進協議会 通常総会	J F 石巻総合支所
令和 元年 9月 18日	種苗生産施設等視察対応 (宮城県水産高校1年生)	施設内
令和 元年 9月 19日 ～10月 17日	アワビ種苗剥離・出荷	協会内
令和 元年 9月 20日	基本財産書換	J F 石巻金融センター
令和 元年 9月 30日	漁船海難防止協議会第2回幹事会 ・通常総会	宮城県水産会館
令和 元年 10月 3日	第40回全国豊かな海づくり大会 宮城県実行委員会第3回幹事会	宮城県庁
令和 元年 10月 7日	第40回全国豊かな海づくり大会 宮城県実行委員会第3回総会	ホテル白萩
令和 元年 10月 8日	宮城県漁業共済組合総会	塩釜市内
令和 元年 10月 11日	菊地伸悦氏授章祝賀会	鳥の海（亶理町）
令和 元年 10月 16日	豊かな海づくり大会予行演習・フ ェスタ2019展示用ヒラメ・ホ シガレイ稚魚出荷	協会内
令和 元年 10月 21日 ～10月 25日	みやぎ漁師カレッジ第2回短期研 修	塩釜魚市場中会議室他
令和 元年 10月 23日 10月 24日	令和元年度異体類分科会	仙台市内
令和 元年 10月 24日	宮城県磯焼け対策会議	気仙沼合同庁舎
令和 元年 10月 30日	多賀城中学校職場体験学習	協会内

令和 元年 1 1 月 6 日	第 2 6 回理事会	パレス松洲
令和 元年 1 1 月 2 0 日 1 1 月 2 1 日	令和元年度太平洋北海域種苗生産 機関所長・技術者会議	福島県水産資源研究所 内（相馬市光陽）
令和 元年 1 1 月 2 9 日	宮城県漁船漁業振興協議会 通常総会・研修会	ホテル白萩
令和 元年 1 2 月 1 0 日 ～ 1 2 月 1 2 日	アワビ産卵母貝搬入	県内 4 ヶ所
令和 元年 1 2 月 2 0 日	みやぎ漁師カレッジ長期研修閉講 式	女川町まちなか交流館
令和 2 年 1 月 2 2 日 1 月 2 7 日	ドローンによる磯焼け漁場のモニタ リング調査	石巻市表浜
令和 2 年 1 月 2 3 日 1 月 2 7 日	ホシガレイ発眼卵搬入	東北区水産研究所沿岸 漁業資源研究センター
令和 2 年 1 月 2 4 日	取締船『うみわし』竣工式	石巻魚市場
令和 2 年 1 月 2 4 日	J F みやぎ等水産関係団体叙勲等受 章者祝賀会	江陽グランドホテル
令和 2 年 1 月 3 0 日 1 月 3 1 日	栽培漁業推進協議会全国会議	東京コープビル会議室
令和 2 年 1 月 3 0 日	さけふ化場採捕施設実態把握調査に 係る打ち合わせ（県受託業務）	県水産業基盤整備課
令和 2 年 1 月 3 1 日	第 4 0 回全国豊かな海づくり大会 担当者会議	自治会館
令和 2 年 2 月 4 日	第 2 7 回定時理事会	パレス松洲
令和 2 年 2 月 4 日 ～ 3 月 6 日	さけふ化場採捕施設実態把握調査	県内 1 3 ヶ所
令和 2 年 2 月 5 日	宮城県磯焼け対策会議	志津川魚市場
令和 2 年 2 月 6 日	第 4 0 回全国豊かな海づくり大会 式典放流行事部会	漁信基ビル
令和 2 年 2 月 1 4 日	宮城県漁協青年部通常総会	石巻市内
令和 2 年 2 月 1 6 日	齋藤吉勝氏黄綬褒章受章祝賀会	ホテルキャッスルプラ ザ多賀城
令和 2 年 2 月 1 7 日	水産青年フォーラム	秋保温泉・岩沼屋
令和 2 年 2 月 1 8 日	農林水産祭シンポジウム	江陽グランドホテル

令和 2年 2月20日 2月21日	全国アワビ種苗生産担当者会議	京都平安ホテル
令和 2年 2月21日 ～3月 4日	協会賛助会員への事業説明・継続加入依頼	県内
令和 2年 2月26日 2月27日	第2回広域種資源造成型栽培漁業推進検討会・作業部会	T K P 仙台カンファレンスセンター
令和 2年 3月 5日	塩釜地区機船漁協組合員資格審査委員会	塩釜地区機船漁業協同組合内
令和 2年 3月17日	令和元年度アワビ種苗生産業務履行検査・完了報告書提出	協会内
令和 2年 3月19日	令和元年度さけ採捕施設実態把握調査業務履行検査・完了報告書提出	協会内
令和 2年 3月26日	資源管理型漁業推進支援事業実績報告確認（補助金支出）	協会内
令和 2年 3月31日	令和元年度担い手事業履行検査・完了報告書提出	協会内
令和 2年 3月31日	ホシガレイ種苗飼育管理業務履行検査・完了報告書提出	協会内

2 組 織（令和2年3月31日現在）

（1）評議員

	常 勤	非常勤	計
評議員の数	—	9人	9人

（2）理事及び監事

	常 勤	非常勤	計
理事の数	1人	8人	9人
監事の数	—	2人	2人

（3）職 員

職員の数	18人	うち常勤	10人
------	-----	------	-----

※ 常勤職員は前年度より1名減となっている。

3 賛助会員

令和2年3月31日 現在

区 分	所在市町	会費納入口数	入会年月日
遊漁船団体 荒浜釣船組合 籬島東部遊漁船連絡協議会 籬遊漁船組合	亶理町 塩釜市 塩釜市	1 5 0 2	H17. 4. 11 H17. 5. 13 H17. 5. 13
小 計 3		1 7	
遊漁船単体 有限会社 きくしん	亶理町	6	H17. 4. 11
小 計 1		6	
遊漁者団体 くろしおフィッシングクラブ 公益財団法人日本釣振興会宮城県支部	塩釜市 仙台市	2 0	H9. 6. 23 H17. 9. 14
小 計 2		2	
釣具店関係 株式会社 竹乃皮屋	仙台市	1	H17. 9. 14
小 計 1		1	
遊漁関連団体 宮城県定置漁業協会 大友 久義（個人会員、定置漁業者） 有限会社 丸真運輸（個人会員）	石巻市 東松島市 仙台市	1 8 2	H17. 9. 14 H17. 6. 2 H19. 1. 25
小 計 3		1 1	
一般団体 有限会社藤澤会計事務所	仙台市	1	R1. 12. 25
小 計 1		1	
合 計 1 1（うち個人会員2）		団体会員 2 8 口 個人会員 1 0 口	

※ 震災後、活動を休止している団体もあるが、当協会の事業の取り組みや、内容等についてはすべての団体にお知らせしている。

※ 会費は団体会員が1口1万円、個人会員が1口5千円に設定している。

【 寄附金 】

当協会へ次の方々から寄附の申込みがあった。

- ・塩竈カジキ釣り大会実行委員会 10万円（令和元年12月 3日）
- ・釣り船・晋漁丸 10万円（令和元年12月20日）

4 評議員会等の開催状況

(1) 評議員会

開催年月日	主 な 決 議 事 項 等
令和 元年 6月12日	第8回定時評議員会 決議事項 1 平成30年度事業報告及び収支決算の承認について 2 評議員及び役員（理事）の選任について 報告事項 1 令和元年度事業計画及び収支予算について 2 令和元年度事業の進捗状況について ※ 事前の出欠回答において、評議員9名のうち定足数を満たす5名の委員から出席の回答を得ていたが、開催日当日に体調不良のため1名が欠席となったことから、定足数を満たさず、会議は不成立となった。
令和 元年 6月20日	第9回評議員会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 平成30年度事業報告及び収支決算の承認について 2 評議員及び役員（理事）の選任について

(2) 理事会

開催年月日	主 な 決 議 事 項 等
令和 元年 5月28日	第22回定時理事会 決議事項 1 評議員会の招集について 2 平成30年度事業報告及び収支決算の承認について 3 就業規則及び有期雇用職員就業規則の一部変更について 報告事項 1 令和元年度事業の進捗状況について
令和 元年 6月12日	第23回理事会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 代表理事1名を選定する件

令和 元年 6月17日	第24回理事会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 評議員会の招集について
令和 元年 6月20日	第25回理事会（決議の省略の方法による） 決議事項 1 代表理事1名を選定する件
令和 元年11月 6日	第26回理事会 報告事項 1 令和元年度事業の執行状況について 1) 栽培漁業関係事業の進捗状況について 2) 資源管理型漁業・栽培漁業の普及啓発について 3) みやぎの漁業担い手確保育成支援事業について
令和 2年 2月 4日	第27回理事会 決議事項 1 令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 2 特定費用準備資金の計画変更について 3 有期雇用職員就業規則の一部変更について 報告事項 1 令和元年度事業の執行状況について（令和2年1月末日現在） 1) 栽培漁業関係事業について 2) 資源管理型漁業推進支援事業について 3) みやぎの漁業担い手確保育成支援事業について

Ⅱ 事業の状況

〈 要 旨 〉

平成27年10月に七ヶ浜町松ヶ浜に完成した宮城県水産技術総合センター養殖生産部の施設に当協会事務所を移転して4年目となる令和元年度は、アワビ種苗生産事業やヒラメ稚魚の中間育成放流事業を始め、前年度から開始したホシガレイ中間育成技術の習得に引き続き取り組むとともに、みやぎの漁業担い手育成支援事業等を展開した。

アワビについては、本県産アワビを親貝として得た幼生を飼育し、平均殻長27.4mmの種苗957.5千個を生産し、前年度に続き本県産種苗を県内の漁協へ供給した。夏場の高水温及び初期の藻類餌料不足等により、目標の1,000千個をやや下回った。

ヒラメの中間育成・放流については、岩手県栽培漁業協会から購入した30mm種苗250千尾の飼育に6月下旬から取り組み、全長87～93mmの稚魚218千尾を8月上旬までに、県内12箇所に配布・放流することができた。なお、仙台湾へ放流した10千尾に背鰭上端をカットした標識を付けて放流するとともに、標識ヒラメの再捕報告をお願いするポスターを作成して、県内魚市場や遊漁船業者・釣具店等へ配布して放流事業の啓発に努めた。

本年度は新たにホシガレイの種苗生産技術研修に取り組み、平成31年2月に東北区水産研究所から受精卵を搬入し、県の指導により5月上旬までに全長約30mmの稚魚13千尾を生産して県水産技術総合センターに搬送した。また、令和2年1月にも受精卵を東北区水産研究所から搬入し、稚魚を飼育している。ホシガレイの中間育成・放流については、令和元年5月に東北区水産研究所宮古庁舎から全長56.6mmの稚魚60千尾を搬入し、中間育成後の7月下旬に平均全長約82mmの稚魚45千尾を県内9箇所の地先海面に放流した。

さらに、藻場調査等実習会に参加して調査技術の向上を図るとともに、ドローンによる磯焼け漁場のモニタリング調査を実施した。また、職員の潜水技術取得に向けて研修を受講するとともに、潜水機材を取得して今後の藻場調査体制を強化した。

県内各団体が取り組む資源管理型漁業の推進及び漁場環境保全活動を支援する助成制度を前年度に引き続き実施し、7団体に補助金を支出して資源管理型漁業の普及啓発に努めた。

みやぎの漁業担い手確保育成支援事業については、協会内に設置した「宮城県漁業就業者確保育成センター」を運営し、コーディネーターを配置して漁業就業に関する相談・照会等に対応した。さらに、本県では3期目となる「みやぎ漁師カレッジ」長期研修に際し、研修カリキュラムの作成、講師依頼や受講生募集等を宮城県及び関係機関と連携して取り組むとともに、希望漁業種類への就業支援や漁業就業予定の長期研修受講生への支援金受給手続きのサポートを実施した。長期研修生5名については、7ヶ月間の様々な研修を修了し、それぞれ希望する漁業種類に就業することができた。また、漁家子弟の研修生3名も漁業従事に必要とされる小型船舶操縦免許やフォークリフト等の資格を取得した。

なお、フォークリフト及び小型移動式クレーン運転技能講習資格取得に要する経費について、当協会を通じて受講生に1/2の補助金を交付した。

さらに、5日間の短期研修を8月と10月に2回実施した。

また、さけふ化場採捕施設に関する実態調査業務を県から受託することにより、本県の重要な秋さけ資源造成体制の安定を図った。

これらの各種事業に取り組むことにより、東日本大震災からの本県水産業の復興と発展が図られるよう努めた。

〈 事業活動の実績 〉

○公益目的事業

資源管理型漁業の推進に関する事業

1 アワビ種苗の生産

東日本大震災により県内のアワビ資源は大きなダメージを受けていることから、これまで以上に継続的な種苗放流が不可欠となっている。

令和元年度は、県からのアワビ種苗生産業務委託に基づき、種苗の生産・出荷に下記のとおり取り組んだ。

(1) 令和元年度放流用種苗（宮城県産）の生産

平成30年3月～6月に県内産アワビ母貝から採卵・採苗を行った約8,000千個の種苗を飼育し、令和元年5月から9月にかけて、県を通じて県内の漁協各支所等に平均殻長27.4mmの種苗957.5千個を出荷した。本年度は、夏場の高水温及び初期の藻類餌料不足等により、目標の1,000千個出荷をやや下回った。

【令和元年度アワビ放流種苗の生産実績】

配布時期	平均殻長 (mm)	配布個数 (千個)	備 考
令和 元年 5月29日 ～7月 5日	27.4	607.0	
令和 元年 9月25日 ～9月30日		350.5	
合 計		957.5	

(2) 令和2年度放流用種苗（宮城県産）の生産

令和元年4月～5月に県内産アワビ母貝から採卵・採苗を行った約8,740千個の種苗を飼育し、令和2年3月末現在で平均殻長20mm種苗約1,430千個を確保することができた。

(3) 令和3年度放流用種苗（宮城県産）の生産

令和3年度放流用種苗の生産に向け、令和元年12月に県内4ヶ所から親アワビ（母貝）を購入し、令和2年3月から5月に採卵予定としている。

なお、母貝の養成については、飼育水槽4槽のうち3槽で従来のボイラー加温水かけ流し式から、電気ヒーター加温を主体とする半閉鎖循環式に改め、重油購入経費の削減に努めた。

【親アワビの飼育状況】

入手時期	入手先	飼育個数
令和元年１２月１０日	唐 桑	６０個
令和元年１２月１０日	歌 津	６０個
令和元年１２月１０日	十三浜	６０個
令和元年１２月１２日	七ヶ浜	６０個
合 計	４箇所	２４０個

２ ヒラメ種苗放流事業

令和元年度も、ヒラメ資源の維持・増大を図るため、当協会の自主事業として中間育成及び放流に取り組むとともに、ヒラメの放流効果等把握のため、背鰭上端をカットした標識を付けて仙台湾へ１０千尾を放流した。あわせて標識ヒラメの再捕報告をお願いするポスターを作成して、各魚市場や釣具店等に配布した。また、県内主要８港のヒラメ水揚げ状況の把握に努めた。

（１）ヒラメ種苗の中間育成及び放流の状況

資源管理型漁業、栽培漁業の推進のためには広域的な連携のもと継続的な種苗放流が必要であり、他県より種苗を購入し、中間育成後に宮城県及び関係機関と連携して県内各地区に放流した。

【令和元年度ヒラメ種苗中間育成の概要】

種苗搬入	搬入サイズ・数量	放流時期	放流サイズ・数量	種苗購入先
令和 元年 ６月２７日 ～ ７月 ４日	平均全長 ３０mm ２５０千尾	令和 元年 ７月２９日 ～ ８月 ６日	平均全長 ８７～９３mm 合計２１８千尾	岩手県栽培 漁業協会

【令和元年度ヒラメ放流実績】

地区	放流月日	放流場所 (地先)	放流 尾数	平均体長	放流方法	備考
北部	7月29日	波路上漁港	11千尾	約87mm	岸壁放流	
〃	〃	蔵内漁港	16千尾	約87mm	岸壁放流	
〃	〃	寄木漁港	11千尾	約87mm	岸壁放流	
〃	〃	志津川漁港 (袖浜)	11千尾	約87mm	岸壁放流	
小計			49千尾			
中部	8月2日	相川漁港	17千尾	約88mm	岸壁放流	
〃	〃	大須漁港	17千尾	約88mm	岸壁放流	
〃	〃	塚浜漁港	17千尾	約88mm	岸壁放流	
中部	8月2日	泊漁港	17千尾	約88mm	岸壁放流	
小計			68千尾			
南部	8月6日	花渚浜漁港・ 吉田浜漁港	68千尾	約93mm	船上放流	1万尾に 標識
〃	8月1日	閑上漁港	11千尾	約90mm	船上放流	
〃	〃	荒浜漁港 (亘理町)	11千尾	約90mm	岸壁放流	
〃	〃	磯浜漁港	11千尾	約90mm	岸壁放流	
小計			101千尾			
合計			218千尾			

(2) 水揚げ状況調査

県内主要8港のヒラメ水揚げ状況を魚市場・関係漁協各支所等の報告に基づき月別にとりまとめた(別添資料1)。

令和2年3月末現在の水揚げ量は871トンで前年の805トンより増加しているが、ヒラメ単価の下落により水揚げ金額は減少した。

震災復興が進み、本県漁船隻数等の漁獲量が震災前の水準に戻ったことや、福島県の操業再開を踏まえ、資源を維持・増大させるために資源の管理と種苗の放流を今後も推進していく必要があると感じている。

3 ホシガレイ種苗放流事業

ホシガレイ資源の維持・増大を図るため、関係各機関と連携し、本年度より新たに種苗生産技術研修に取り組んだ。平成31年2月8日及び19日に東北区水産研究所宮古庁舎より受精卵を搬入し、宮城県とともに技術習得に取り組んだ。ふ化仔魚37千尾を飼育し、5月9日及び10日までに全長30mm前後の稚魚13千尾を得た。なお、稚魚は5月9日、10日の2日に分けて県水産技術総合センターに搬出した。引き続き次年度も技術研修を行うため、令和2年1月23日及び27日に受精卵を各10～15万粒ずつを東北区水産研究所より搬入して、現在稚魚を飼育中である。

また、前年度に引き続き実施した中間育成については、令和元年5月23日に東北区水産研究所宮古庁舎で生産された全長56.6mmの種苗60千尾を搬入し、巡流水槽にて中間育成を行い、7月25日まで飼育した。

その結果、平均全長約82mmの稚魚45千尾を県内9箇所の地先海面に放流することができた。なお、中間育成の費用については、宮城県資源管理型漁業実践協議会の補助金を充当した。

【令和元年度ホシガレイ種苗中間育成の概要】

種苗搬入	搬入サイズ・数量	放流時期	放流サイズ・数量	種苗搬入先
令和元年 5月23日	平均全長 56.6mm 合計60千尾	令和 元年 7月22日 ～ 7月25日	平均全長 82mm 合計45千尾	東北区水産 研究所 (宮古庁舎)

【令和元年度ホシガレイ放流実績】

地区	放流月日	放流場所 (地先)	放流尾数	平均体長	放流方法	備考
北部	7月22日	蔵内漁港	5,400尾	82mm	岸壁放流	
〃	〃	田ノ浦漁港	5,400尾	82mm	岸壁放流	
〃	〃	波伝谷漁港	4,200尾	82mm	岸壁放流	
小計			15,000尾			
中部	7月25日	立浜漁港	3,750尾	82mm	岸壁放流	
〃	〃	塚浜漁港	3,750尾	82mm	岸壁放流	
〃	〃	西出当地先	3,750尾	82mm	岸壁放流	
〃	〃	鮎川漁港	3,750尾	82mm	岸壁放流	
小計			15,000尾			
南部	7月23日	花刈・吉田浜 地先	15,000尾	82mm	船上放流	
小計			15,000尾			
合計			45,000尾			

※ 上記に加え、宮城県水産技術総合センター実施分 6,400 尾を併せて北部地区に放流した。

4 資源管理型漁業、栽培漁業の普及・啓発

資源管理型漁業、栽培漁業の推進を図るため次の事業を実施した。

(1) 資源管理型漁業推進支援事業

平成28年度に積み立てた「資源管理型漁業特定費用準備資金」を活用し、ヒラメやアワビなどの栽培漁業の振興や、県内沿岸における水産資源の永続的な利活用に向けて、関係者一体となった資源管理型漁業の推進を図るため、以下の事業を実施した。

事業の実施に際しては、理事会はもとより宮城県関係各課及び公所への説明と、市町・NPO団体や遊漁団体等への周知を行った。

1) 各団体への助成事業

		団 体 名	主な活動内容	補助額
助 成 対 象 及 び 補 助 額	1	JF みやぎ・七ヶ浜支所 女性部	低価格魚加工、魚食PR、料理教室開催他	180,000
	2	JF みやぎ・石巻湾支所 研究会	アサリ幼生定着促進、採苗モニタリング	95,000
	3	JF みやぎ・寄磯前網支所 青年部	海中造林施設の設置、ウニ身入向上	72,000
	4	JF みやぎ・唐桑支所	コンブ海中造林施設、ウニフェンス設置	154,000
	5	JF みやぎ・気仙沼地区支所 青年部千尋会	コンブ海中造林施設増設、ウニ除去移植	200,000
	6	JF みやぎ・大谷本吉支所	コンブ海中造林施設設置、磯焼け勉強会開催	200,000
	7	松島湾アマモ場再生会議	アマモ種子採取・育苗・移植、全国会議への参加他	200,000
		合 計		1,101,000

2) 水産振興協会実施事業

- ・藻場のモニタリング調査研修を受講した。
- ・ドローンによる磯焼け漁場のモニタリング調査を実施した。
- ・協会職員が潜水技術を取得する研修を受講し、新たに潜水機材を取得した。

(2) 機関誌等の発行

当協会の機関誌である「ゆたかな海」第5号（別添資料2）を令和元年8月に発行し、関係機関に配布するとともに、ホームページにて取組内容や資料を随時更新し、協会の現状や、事業の内容について分かりやすい情報の発信に努めた。

(3) 資源管理意識の啓発

当協会の賛助会員である遊漁船業者及び遊漁者（プレジャーボート）の各団体に対して、協会の現状と事業内容を周知し継続加入を働きかけた。なお、本年度は1団体

が新規に加入した。また、遊漁団体や各魚市場に対し、ヒラメ稚魚放流に関するポスターを配布し、県民の資源管理意識の啓発を図った。

(4) 施設見学への対応

本年度の松ヶ浜種苗生産施設の見学者は、300名であった。他都道府県等の種苗生産関係者や全漁連女性部の視察に加え、県内在住の方々の来訪も多数あったため、協会の役割や業務内容についてパンフレット等を用いて丁寧な対応を心掛けた。

また、玄関ホールには引き続きアワビ、ヒラメ等の栽培漁業並びにみやぎ漁師カレッジやさけ増殖事業に関するそれぞれのパネルを設置し、見学者の理解が深まるよう努めるとともに、車での施設来訪者の利便性を図るため、協会入口道路交差点に当協会への案内表示板を新たに設置した。

5 さけふ化場採捕施設に関する実態調査

宮城県からの調査業務を受託し、県内13箇所のさけふ化場採捕施設の実態について調査を実施し、施設の概要及び写真撮影の上、記録をとりまとめた。

6 みやぎの漁業担い手確保育成支援事業

新規漁業就業者確保のため、県や関係機関と連携して下記内容を実施した。

(1) コーディネーターの配置及び相談窓口の設置

令和元年度も引き続き当協会内に漁業担い手育成コーディネーター1名を配置し、漁業就業希望者の相談にワンストップで対応できるよう相談窓口を設置・運営した。

問い合わせ内訳	求職件数	求人件数
長期研修に係るもの	19件	10件
短期研修に係るもの	19件	養殖業9件 漁船漁業1件
就業支援フェアに係るもの	15件	東松島市4件 塩釜市1件 南三陸町1件 七ヶ浜町3件 女川町1件
その他	3件	
合 計	56件	

(2) ウェブサイトの作成、運営

漁業相談窓口、長期研修・短期研修の告知・受講生の募集等をサイト訪問者(新規漁業就業希望者等)にアピールするウェブサイトの作成及び運営に努めるとともに、求人情報を掲載して1件のマッチングが成立した。

また、新たに Facebook により「みやぎ漁師カレッジ」に関する研修生募集情報を発信した。

(3) 「みやぎ漁師カレッジ」の運営

長期研修及び短期研修の開催・実施にあたり、研修開催場所の調整、研修カリキュラムの作成、研修日程の調整及び長期研修と短期研修の実施にともなう受講生の募集等を行った。

1) 長期研修の開催

3期目の「みやぎ漁師カレッジ」長期研修に一般受講生4名、漁家子弟4名の計8名が受講した。受講生は令和元年6月3日から12月20日までの7ヶ月間、宮城県の各種漁業に関する講義と実習、船舶やフォークリフト免許等の取得に加え、希望する漁業種類について2ヶ月間の専門研修に取り組んだ。

当協会は、カリキュラムの作成や受講生の募集を行うとともに、研修受入先の調整や外部講師の依頼など県や関係機関等と連携して研修を運営した。

また、受講生に給付される国の支援制度（次世代人材投資型事業等）の紹介と受給手続き等の支援、資格取得補助金等の給付に関する支援を行った。

なお、長期研修生1名が、研修途中で女川町にて新規漁業就業した。

【令和元年度 「漁師カレッジ」開催実績】

【長期研修】

開催期間	開催場所	受講生数	研修内容
令和元年 6月 3日 ～ 12月20日 (7ヶ月間)	女川町 まちなか交流館 他現地研修	一般 4名 漁家子弟 4名 合 計 8名	・宮城県の水産業等座学 ・各種漁業の現場研修 ・ロープワーク技術習得 ・小型船舶免許等取得 ・希望漁業専門研修 (2ヶ月) 等々

【長期研修生漁業就業実績】

年令	出身	就業先
23	宮城県気仙沼市	気仙沼市本吉町 小型定置網漁業・養殖業
33	東京都羽村市	女川町 ギンザケ養殖業 (注)
37	宮城県仙台市	亘理町 刺網漁業
42	宮城県気仙沼市	気仙沼市唐桑町 ワカメ養殖業・小型定置網漁業
43	宮城県岩沼市	石巻市 刺網漁業・かご漁業

(注) 研修途中で女川町にて漁業に就業（漁家子弟枠で計数）

2) 短期研修の開催

第1回短期研修は令和元年8月5日(月)から9日(金)までの5日間、宮城県水産技術総合センターにて、第2回短期研修は令和元年10月21日(月)から25日(金)までの5日間、塩竈市魚市場中央棟会議室にて開催した。

当協会は、カリキュラムの作成、受講生の募集、研修講師や使用する漁船の手配等について、県や関係機関等の方々と連携して運営に取り組んだ。

なお、短期研修の受講生は、第1回が3名、第2回が4名で、合計7名が参加した。このうち、1名が石巻市で漁業に就業した。

【第1回短期研修】

開催期間	開催場所	受講生数	研修内容
令和元年 8月5日 ～ 8月9日 (5日間)	石巻市渡波 宮城県水産技術 総合センター他	一般 3名 漁家子弟 0名 合計 3名 (県外者3名)	・宮城県の水産業等座学 ・刺網、カゴ漁業体験 ・大型・小型定置網漁業体験 ・ホタテガイ養殖作業体験 ・ロープワーク等技術習得

【第2回短期研修】

開催期間	開催場所	受講生数	研修内容
令和元年 10月21日 ～ 10月25日 (5日間)	塩竈市魚市場 中央棟会議室他	一般 4名 漁家子弟 0名 合計 4名 (県外者3名)	・宮城県の水産業等座学 ・カキ養殖作業体験 ・定置網漁業体験 ・刺網漁業出荷体験 ・海苔養殖業研修 ・ロープワーク等技術習得

(4) 漁業就業者フェア等へのブース出展

全国漁業就業者確保育成センターが令和元年7月6日東京会場(池袋・サンシャインシティ)にて主催した「漁業就業支援フェア2019」及び宮城県が8月31日に仙台市にて主催した「2019年漁業就業者支援フェア in 仙台」において、それぞれ当協会もブース出展し、漁業就業希望者の相談に応じるとともに、移住・定住に関する情報の収集及び発信を行った。

○収益事業

水産関連団体事務受託事業

宮城県さけます増殖協会及び宮城県漁船漁業振興協議会から事務業務を受託し、誠実かつ適正に執行し、本県水産業の振興に努めた。

特に、本年度漁期は記録的な秋さけ来遊不漁となったことから、親魚と種苗の確保に向け事務局として、県と連携し精力的にその調整に努めるとともに、宮城県に対してふ化団体への経営支援、健苗適期放流技術指導、来遊低迷の原因究明について緊急要望書を提出した。